

平成 20 年度第 2 回清水町行政改革推進委員会記録（第 26 回）
（要点筆記）

日 時 平成 20 年 7 月 11 日（金）午前 9 時 30 分から
場 所 清水町役場 4 階 第 1 会議室
出席者 委員長外 7 人
事務局（企画財政課）駿藤、野田、木村
説明員（こども育成課）下山・浅賀

委員長あいさつ

- ・今年度は諮問の予定がないということなので、実施計画への提言や独自意見を集約していくことになると思われる。

第 1 回の会議録の確認

訂正なし

配布資料確認

議題

1．土屋委員からの提言について

（土屋委員による概要説明）

- ・公営で幼稚園を運営していただいているので、金額が安く非常に助かる。
- ・しかし、集団登園等不便なこともある。年齢が下の兄弟がいると家に残すことはできないので、嵐でも雨でもおぶって連れて行かなければならない。
- ・長泉では集団登園を廃止している。
- ・幼稚園の延長保育の時間を延ばせないのか？
- ・また受入れについて制限が厳しい。
- ・小学校の参観日に幼稚園の先生が研修で預けられない事例があった。
- ・幼稚園・保育所の一元化ができないのか。
- ・清水町が豊かになる子育てにやさしい清水町になると思う。
- ・働き世代を定住させるためには必要ではないか。

（こども育成課）

- ・現状として、幼稚園は充足率が低い。全体で 60.5%
- ・これは働く環境の変化により全国的なもので、その半面保育所の需要が高い。
- ・清水町の延長保育は 14 時から 16 時の間で 1 回 100 円で実施しています。
- ・御殿場以外はやっているところはありません。他の近隣は私立幼稚園がある。
- ・幼稚園の役割として考え、教育という観点から家族のふれあいの時間も重要と考えているので、これ以上の時間延長は考えてません。保育所の役割だと考えています。
- ・現在、幼保一元を目指し、検討委員会を開催しているところです。
- ・清水幼稚園と中央保育所を一元使用と考えている。
- ・第 2 回の検討委員会には土屋さんの提言も紹介し、議論していきます。
- ・清水町ではファミリーサポートを実施している。預かってほしい人と預けた

い人を紹介しています。また、子育て総合支援センターでは1時間600円でお預かり保育をしています。

- ・ 悩みを持っている町民の方には、随時情報を提供し、相談にのりたいと考えています。

(質問)

- ・ 子育て支援センターでの預かりは町外者が多いと聞いているが？
平日は町民の方が多く、週末は町外の人が多いです。
- ・ 保育所の充足率はどのくらいですか。
4園全体で450人の定員に対し449人、99.8%です。
- ・ 公設民営など伊豆市でも導入しているが。
現在の検討委員会でも、民説民営の認定こども園を前提に検討しています。
- ・ 新しくても使い勝手がよいものでなくては意味がない。
- ・ 報告事項があれば、委員会に提供していただきたい。

2. 平成20年度行政改革大綱実施計画について 報告書の見方と内容を説明。

(質問・意見)

- ・ 町の歳入の町税の占める割合が7割だが、自主財源を増やす方法を考える必要がある。
- ・ 回覧板のチラシ裏面に広告を載せたらどうか？広報の紙質を下げるなど、できないのか？
担当に報告します。
- ・ 町からの健康診断の案内が来るがすべて個人別にくる。1家庭1封筒でも送付できるのでは？
受ける側と一緒にされて不快な思いをしたという意見もある。家庭の事情により別々を希望する場合もあるので検討の余地がある。
- ・ 社会保険加入者は健康診断を会社で受診するので、送る必要がないのではないか？
検診の種類によって保険は関係ない場合があるので、全員に送付しています。
- ・ 固定資産税などコンビニでできるようになったが、効果は出ているのか？
清水町は若い世代が多いので、コンビニ収納を活用している人が多いと聞いています。結果がなければ、再検討の必要もあると思います。
- ・ コンビニ収納は必要だが手数料を取られる。口座振替で何かメリットがあれば、利用率も上がるのでは？昔は一括納入による割引があった。
前納報奨金制度については、税務課でも復活について検証に入っていることを聞いているので、意見として伝えます。
- ・ 柿田川公園の有料化を実施してはどうか？
受益者負担の考えから料金体制について検討課題となっていますが、現在は進んでいません。駐車場から有料化することについて、担当課に投げかけてきます。公園には入場口が多く、管理面から現状では難しい。
- ・ 本城山公園の駐車場を近所の人が私用として利用しているので、施錠等をするか夜間利用料を取るなどできないのか。
夜間徴収することを検討したが、そのほかにも公の施設で施錠していない駐車場もあり、管理が難しい。しかし、公平性の面から本城山がそのような状態

であるのであれば、担当所管に対応させます。

- ・ 柿田川公園の駐車場に、バイオトイレを設置し、料金を徴収し環境対策をPRしていくのはどうか。
- ・ 年3回ヒアリングをするというが、誰とヒアリングをしているのか。あまいのでは？この報告書はやった結果だけであり、成果がないのでは。担当課にはそのことを意識づけしていかなければならない。
- ・ 民間委託の基準等はあるのか？
「民間委託等の推進方針」、「民間委託等推進計画」において基準を設けています。次回委員会には計画書をお渡しします。
- ・ 学校給食については、自校方式をとっている。自校方式にはそれなりのよさがある。費用対効果だけで見るとは避けること。
- ・ 食育について考えていかなければならない。
- ・ 地産地消のことについて取り組むべき。
- ・ 3年間検討するという事は、どういうことか。早期に対策・方針を示す必要がある。
- ・ 長泉ではセンター方式を導入した。聞くことができるのでは。
- ・ この報告書の評価の対象が分かりにくい。この程度の改善は日々取り組むべきことである。
- ・ 事務事業評価のように数値を示すべき。
- ・ 戸籍抄本をとるときに本人確認を求められた。必ず全員から取っているのか。議員等からは取っていないのでは。

5月1日からスタートしました。不公平がないように全員からとるように指導しています。

- ・ 窓口で本人確認制度が始まったことを掲示したほうがよい。
- ・ 一言声をかけるべき。
- ・ 本人確認は必要だが、時間短縮する手法があるといいのだが。
- ・ 銀行ではフロア係がいて、一言添えるような係がいる。

3. 平成20年度提言について

事務局から平成19年度に出された提言書とその対応結果を説明。

4. その他

- ・ 次回までに取り組み計画にこだわらず、多くの提言を出してほしい。
- ・ 事務局は諮問・提言してほしいものを示すこと。

次回開催スケジュール

8月を予定していましたが、諮問事項がないため、9月下旬から10月上旬を予定しています。